

公開シンポジウム

「地域で支える若者の 自立支援と行政の役割」

若者の自立をどう支えるかが問われています

とくに困難な家庭環境に育った若者は経済的問題を軸としながら低い自己肯定感や学力、乏しい文化資本や社会的なネットワークといった重層的な不利を背負って社会を生きてくことになります。

教育・福祉・労働にまたがるこの問題に
私たちはどう向き合うべきなのでしょうか。
そうした中で、本大会の開催地である
釧路の取り組みに注目が集まっています。

基幹産業の衰退に伴い、雇用は冷え切っています。

高い生活保護受給率や基礎教育からの排除問題等も抱え、
そうした厳しい地域にあって、側面ではNPOと行政とが協働
して、地域に若者の居場所や所属を創出しながら、仲間や
大人との相互交流の場を築いてきました。

自己と他者と社会との関係の編み直しがゆるやかに、
しかし確実にそこでは生まれています。
本シンポジウムでは、そうした学びの胎動を共同で
ふりかえりながら実践知の共有と発信を目指します。

【報告者】

柳部武俊 釧路市生活福祉事務所元主幹
高島昌之 釧路市立美原小学校教頭／元社会教育主事
日置真世 NPO法人地域生活ネットワークサロン理事

【コメンテーター】

宮崎隆志 北海道大学
北川裕士 くしろ若者サポートステーション所長

【司会】

二宮信一 北海道教育大学釧路校
添田祥史 北海道教育大学釧路校

【日時】 2012年10月6日（土） 16:15～18:30

【場所】 北海道教育大学釧路校 講義棟403教室

【共催】 北海道教育大学釧路校 日本社会教育学会

【後援】 北海道教育庁釧路教育局 釧路市 釧路市教育委員会

